

令和元年度（2019年度）公社等経営評価書

青森県道路公社

株式会社等用

1 法人の概要

基準年月日
(基本情報に係る基準日) 令和元年7月1日

法人名	青森県道路公社	所管部課名	県土整備部 道路課
代表者職氏名	(職名) 理事長 (氏名) 鈴木 潔	設立年月日	昭和50年4月1日
所在地	〒 030-0801 青森市新町二丁目4番1号 青森県共同ビル8階	電話番号	017-777-7331
HPアドレス	http://www.aodoko.or.jp/index.html	FAX番号	017-773-4965
e-mailアドレス	soumu@aodoko.or.jp		

資本金・基本金等

資本金・基本金等	8,235,500 千円
(うち県の出資等額)	8,235,500 千円
(県の出資等比率)	100.0 %

設立の目的・事業の目的

青森県の区域及びその周辺の地域において、その通行又は利用について料金を徴収することができる道路の新設、改築、維持、修繕その他の管理を総合的かつ効率的に行うこと等により、この地域の地方的な幹線道路の整備を促進して交通の円滑化を図り、もって住民の福祉の増進と産業経済の発展に寄与することを目的とする。

主な出資者等の構成（出資等比率順位順）

氏名・名称	金額（千円）	出資等比率（%）
1 青森県	8,235,500	100.0
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

経営目標

平成30年度に策定（平成31年3月27日策定）した中期経営プラン（計画期間：令和元年度～令和5年度）を着実に実施し、有料道路サービスの一層の充実、長期債務の確実な削減及び経営の効率化等による一層のコスト削減に鋭意取り組んでいく。また、収益確保に努めるとともに、道路の安全性及び利便性向上のための維持修繕工事等を計画的に実施していく。

主要事業の概要

主要事業	決算額（千円、%）						公益・収益等の別	補助金の有無	受託収入の有無	再委託の有無
	平成28年度(2016)	割合	平成29年度(2017)	割合	平成30年度(2018)	割合				
事業1 みちのく有料道路 (内容) 有料道路事業	631,407	71.52 %	734,756	72.36 %	605,589	68.39 %		無	有	無
事業2 青森空港有料道路 (内容) 有料道路事業	112,663	12.76 %	140,884	13.87 %	129,319	14.61 %		無	無	無
事業3 第二みちのく有料道路 (内容) 有料道路事業	134,737	15.26 %	136,182	13.41 %	146,327	16.53 %		無	有	無
事業4 中央大橋下有料駐車場 (内容) 有料駐車場事業	3,980	0.45 %	3,584	0.35 %	4,200	0.47 %		無	無	無
上記以外		%		%		%		無	無	無
全事業	882,787	100.00 %	1,015,406	100.00 %	885,435	100.00 %				

※損益計算書：管理業務費、一般管理費、諸減価償却費

組織の状況

区分	平成29年度(2017)		平成30年度(2018)		令和元年度(2019)		前年度増減	増減理由
	県派遣	県OB	県派遣	県OB	県派遣	県OB		
役員	常勤	2	2	2	2	2		
	非常勤	3	1	3	1	3	1	
	計	5	1	5	1	5	1	
職員	常勤	10	3	10	3	8	2	▲2 再任用期間満了及び自己都合退職者による減
	非常勤							(※自己都合退職者については補充検討中)
	臨時職員	9		9		9		
	計	19	3	19	3	17	2	▲2

役員平均年齢	63.0 歳	職員平均年齢	52.0 歳	職員の年代別構成	20代	30代	40代	50代	60代～	勤続年数（平均）
役員平均年収	5,795 千円	職員平均年収	6,067 千円			4人	2人	2人	15.0年	

※常勤役員のみ

※常勤職員のみ（ただし、職員平均年収及び勤続年数はプロパー職員分）

2 財務の状況

(単位：千円)

項 目	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	前年度増減	主な増減理由〔法人記入〕	
収支等の状況	業務収入	2,056,175	2,081,544	2,124,375	42,831	
	受託業務収入			1,296	1,296	H30県からの受託事業
	業務外収入	4,545	4,348	4,346	▲ 2	
	補助金収入	40,478	159,522		▲ 159,522	H30補助事業無し
	経常利益	918,985	962,535	998,154	35,619	
	当期利益		1,732	876	▲ 856	駐車場事業当期利益の減
	利益剰余金	23,178	24,909	25,785	876	
	借入金残高	8,260,140	7,321,124	6,431,330	▲ 889,794	
資産	資産	33,090,849	32,956,204	33,043,393	87,189	
	負債	24,832,171	24,695,795	24,782,108	86,313	
	純資産	8,258,678	8,260,409	8,261,285	876	
県費等の受入状況	補助金	40,478	159,522		▲ 159,522	
	事業費	40,478	159,522		▲ 159,522	H30補助事業無し
	運営費（人件費含む）					
	受託事業収入			1,296	1,296	H30県からの受託事業
	負担金					
	交付金					
	貸付金					
	無利子借入金による利息軽減額 (長期プライムレートによる試算額)	17,219	17,951	18,318	367	
	減免額（土地・施設等使用料等）	52	52	52		
	債務保証残高					
損失補償残高	5,964,660	4,689,115	3,542,210	▲ 1,146,905	借入償還による債務の減少	

(単位：%)

財務分析指標	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	前年度増減	主な増減理由〔法人記入〕	
財務構造	自己資本比率	24.96	25.06	25.00	▲ 0.06	
	総資産経常利益率	2.78	2.92	3.02	0.10	
	県財政関与率	2.80	8.51	0.92	▲ 7.59	H30補助事業無し
収益性	総資産回転率	6.23	6.33	6.45	0.12	
	売上高経常利益率	44.60	46.15	46.86	0.72	
効率性	販売管理費比率	3.55	3.67	3.39	▲ 0.27	
	人件費比率	3.83	3.95	3.88	▲ 0.07	
財務健全性	流動比率	26.72	39.22	43.96	4.74	
	借入金比率	24.96	22.21	19.46	▲ 2.75	

3 経営評価結果等への対応状況

これまでの経営評価結果等 (改善事項等)	対応状況 〔法人記入〕	左に係る県所管部局の意見・評価 〔県所管部局記入〕
繰上償還等による早期の債務解消に向けた各 方策の検討・実施状況について	借入時に入札により有利な利率で借入したものの現在は比較的高い利率となっている長期借入金については、低金利への借換が金融機関との約定により困難となっているが、公社において運用可能な資金の範囲内で、繰上償還を行い、新たに低金利で借入れることで金利負担の軽減を図っている。(H30年度繰上償還額：252,500千円、利息軽減額7,334千円)	当課でも、現在の借入金の利率については、比較的高い金利が設定されているものがあることから、経営改善を図るため金利負担の軽減を図ることが重要と考えている。 現在の借入先では直接の借換に応じないと報告を受けているが、公社では、H28年度から内部の繰越金を活用して繰上償還の実施等により金利負担軽減を図っているところであり、この取り組みを続けるとともに、更なる金利負担軽減方策がないか、公社とともに検討していくこととした。

4 経営評価指標

(1) 法人自己評価

評価項目	対象指標 評点数	法人評価		(参考)	自己評価〔法人記入〕 (経営概況、経営上の課題・対策、得点率の増減理由等)
		評点数	得点率	前年度得点率	
目的適合性	16	16	100.00	100.00	有料道路事業による道路の早期建設により地域の経済発展に寄与するという設立目的を果たしている。また、昨年度新たな中期経営プラン(令和元年度～5年度)を策定しており、引き続き収益の確保に努めるとともに、道路の安全性及び利便性向上のための維持修繕工事等を計画的に実施していく。
計画性	30	27	90.00	90.00	前中期経営プラン(平成26年度～平成30年度)では、計画の着実な実施に努めた結果、債務削減額は、計画額を約2.3億円上回る実績となった。新たな中期経営プラン(令和元年度～令和5年度)においても、計画を着実に実施し、長期債務の着実な削減に向け鋭意取り組んでいく。
組織運営の健全性	40	28	70.00	70.00	退職者不補充として再任用職員及び県OBを活用することによって組織体制を維持してきたところであり、平成27年度から総務部門を一元化し、機能強化を図った。今後とも現有職員の年齢構成及び人員数などを考慮した業務執行体制について検討していく。
経営の効率性	25	20	80.00	72.00	当社は少ない人員で多額の売り上げを計上しており、経営の効率性は高い。
財務状況の健全性	23	18	78.26	69.57	事務の効率化及びコスト削減等を図り、単年度収支で23期連続となる黒字を計上しており、今後とも長期債務の確実な削減に向け努めていく。
合計	134	109	81.34	78.36	

(2) 県所管部局評価

評価項目	項目別評価		コメント〔県所管部局記入〕
目的適合性	◎	対応等は良好	経営コスト縮減及び利用者サービスの向上策等の取組により、平成26年度から平成30年度までの中期経営プランでは計画を上回る実績を挙げており、令和元年度から令和5年度までの新たな中期経営プランにおいても、引き続き、計画の着実な実施が望まれる。 また、青森空港有料道路については、H29年度において料金徴収期間の10年間延長が許可され、今後とも債務の償還を進めていくこととなるが、経営状況を注視し、計画通り債務償還を進められるよう、助言、指導等を行っていくこととした。
計画性	◎	対応等は良好	経営コスト縮減及び利用者サービスの向上策等の取組により、平成26年度から平成30年度までの中期経営プランでは計画を上回る実績を挙げており、令和元年度から令和5年度までの新たな中期経営プランにおいても、計画の着実な実施により、長期債務の直実な削減や道路の安全性及び利便性の向上等が行われるよう、引き続き公社とともに取り組んでいくこととした。
組織運営の健全性	○	概ね対応等は良好	再雇用職員等を活用しつつ適正な人員配置に努めているものの、今後の人材の育成確保も大きな課題であることから、業務量等を踏まえた業務執行体制について引き続き検討する必要がある。
経営の効率性	○	概ね対応等は良好	老朽化する設備の更新等のため技術職員を増員し、適切な施設管理等による道路の安全確保に努めながら、経費節減にも取り組み、計画を上回る債務削減を達成している。
財務状況の健全性	○	概ね対応等は良好	借入等により資金を調達し有料道路を整備、料金収入で債務を償還するという有料道路のスキーム上多額の長期債務を抱えているものの、管理経費の縮減や金利負担の軽減策に取り組むなど、収益力の向上と債務圧縮を着実に実現しており、財務状況が改善されてきている。

5 総合評価

総合評価		コメント〔県所管部局記入〕(改善事項等)
B	改善の余地あり	財務の状況については、安定的に黒字を確保しており、平成26年度から平成30年度までの中期経営プランにおいても計画を上回る債務の削減実績を挙げる等、経営基盤は安定しているものと評価できる。経営基盤は安定しているものの、借入金残高は依然として高い水準にあり、借入時の金利が高い債務も散見されることから、早期の債務解消と金利負担の軽減に向けた一層の取組を期待する。 上記のとおり、経営上の課題が残されており、引き続き今後の改善が望まれることから、B評価とした。